

# TOSHIN Hearing NEWS

2020年6月発行

## 国際難聴者連盟が声明【新型コロナウイルスと難聴者】を発信

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は難聴者の生活にも悪影響をもたらしており、2020年3月23日に国際難聴者連盟から新型コロナウイルスに関する声明が発信されました。下記は声明【新型コロナウイルスと難聴者】からの抜粋です。

難聴者は、その障害の特性から、口元の動きを読むなど他の人と近接してコミュニケーションを行うことが必要となる。しかし、現在は感染予防のために人との接触に距離を置くことが求められ、口元の動きを隠すマスクの着用が求められている。そしてこれらは、多くの人の安全のためにやむを得ない対応と考えられる。このような状況の中で、我々難聴者とのコミュニケーションにおいては、できる限り明瞭に、そして適度の速さで話すことを心掛けていただきたい。補聴器のような補聴を援助する電子デバイスは音を増幅するので有効な場合が多い。また、スマートフォンに文字を表示したり、紙に書いて筆談することも非常に有効である。我々は世界中の難聴者やその関係者に対して以下の対応をアドバイスする。

- 1か月またはそれ以上の補聴器電池を確保し、販売店での購入ではなく電話・オンラインでの購入を可能にすること。
- 体調が悪い場合は、補聴器販売店への予約を延期すること。
- 利用可能な補聴援助機器を最大限に利用すること。このことは、人との接触を避け、口元の読み取りへの依存を低減する。また、他人が使用した機器を使用の前後に消毒することを励行すること。
- 相手の言っていることが理解できない場合は、もう一度話してもらい、スマートフォンに文字入力してもらい、また書いてもらうことを要求する。



難聴者は新型コロナウイルス禍で補聴器のメンテナンスが行いにくいこと、ソーシャルディスタンスの確保とマスク着用時はよりコミュニケーションを行いにくいなかで補聴器が有効であることが伝えられています。国際難聴者連盟より出された新型コロナウイルスに関する声明全文は一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会のホームページで翻訳されています。 (<https://www.zennancho.or.jp/2879/>)

## 認定補聴器技能者数が 4000 名を突破し、更新審査はより厳格に

2019年11月1日に第27回認定補聴器技能者試験が開催され、翌2020年4月に認定補聴器技能者制度を統括する公益財団法人テクノエイド協会は444名の受験者のうち369名が合格したことを発表しました。これにより制度の発足以降の累計合格者数は5017名、2020年6月現在の資格登録者数は4191名となりました。資格取得後も5年間の資格有効期限内に7課目の講習を受講し、資格を更新していく必要がありますが、2020年4月1日から更新審査がより厳格になり、基準を満たしていても知識・技能が十分とはいえないと判断された場合は資格の有効期限が2年に限られ、2年後の再審査で延長が認められた場合は3年の追加が認定

### 目次

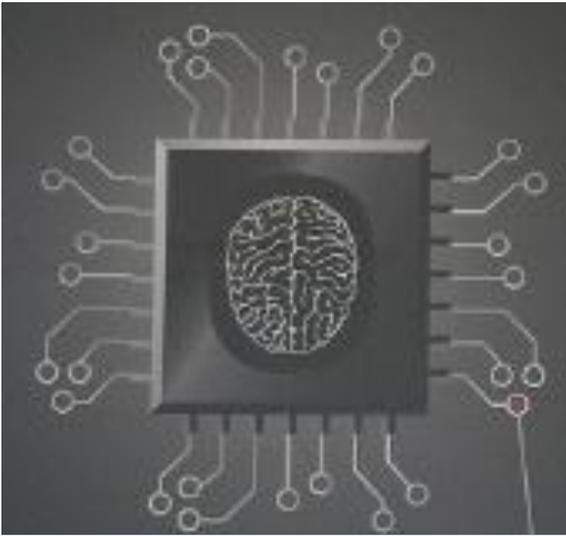
- 1 国際難聴者連盟が声明【新型コロナウイルスと難聴】を発信
- 2 認定補聴器技能者が 4000 名を突破
- 3 最新型補聴器～演算処理能力の向上により更に進化していく補聴器～
- 4 国内補聴器出荷台数 コロナの影響
- 5 店舗情報  
枚方店 リニューアルオープン

されませんが、再審査で認定されなかった場合は資格を喪失することになりました。日本では管理医療機器（補聴器）販売業の届け出さえすれば、一定の知識・技能を持ち合わせない小売店や通信販売でも補聴器を販売でき、そのような現状が欧米に比べ補聴器使用者の満足度が著しく低い原因になっているとも言われております。また、一般社団法人日本補聴器工業会の『JAPAN TRAK 2018』によって質の高いフィッティングを受けた補聴器使用者ほど満足度が高いことがわかっており、補聴器関係者や難聴者からは認定補聴器技能者制度及び認定補聴器専門店制度のさらなる充実を求める声があがっています。なお、認定補聴器技能者の在籍情報や認定補聴器専門店の所在地などはテクノエイド協会のホームページから検索することが可能です。

(<https://www3.techno-aids.or.jp/index.html>)



## 最新型補聴器事情 ～演算処理能力の向上により 更に進化していく補聴器の利便性～



最新型高性能補聴器に組み込まれている DSP チップのイメージ図

現在の最新型高性能補聴器に組み込まれている DSP<sub>1</sub>) の演算処理能力は 1200MOPS<sub>2</sub>) まで向上されており 1 秒間に 1 2 億回の演算処理が行えるようになっております。そして 2.4GHz 帯の Bluetooth が内蔵され、これによりスマートフォン<sub>3</sub>) など直接通信ができるようになりました。今まで補聴器で携帯電話を受信するためには、補聴器→中継器→スマートフォンという構成で、中継器という煩わしい物が必要でしたが、それが不要になったことで補聴器着用者の利便性と経済性が大変向上しました。それらの機能を内蔵した補聴器を購入するだけで手持ちのスマートフォンはペアリングのみで繋がるようになり、電話の会話以外にスマートフォンで再生できる動画や音楽の聴取が可能になり、それ以外にも専用の小型ワイヤレスマイクや TV アダプターを購入すれば 15m 以内の音声聴取における S/N 比が格段に向上し、専用の電話アダプターを購入すれば固定電話も電話口まで行かずハンズフリーで聴取できるようになります。専用アプリをスマートフォンにインストールすれば、補聴器とスマートフォンの通信が途切れた地点の位置情報をアプリが記憶し、

補聴器を紛失した場所のある程度の特定が可能になります。またスマートフォンの操作で補聴器の音量調整や簡単な音質調整が可能で、遠隔地からのリモートによる本格的なフィッティングにも対応できるようになっております。ただし、これらの機能をフル活用すると著しく電力を消費するため、電池寿命が実質 3 日程度に落ちる場合があり、最新型高性能補聴器は充電式を選択することで更に利便性、経済性が向上するということになります。

- 1) DSP : **D**igital **S**ignal **P**rocessing の略でデジタル信号の処理に特化したプロセッサです。音をはじめその他光や振動といった自然界にあるアナログ情報をデジタル変換した人の耳に届くようアナログに再変換するというプロセスに必要なフィルタリング、解析、伝送といった算術処理を実行することを得意としています。
- 2) MOPS : 100 万回オペレーション/秒(**M**illion **O**perations **P**er **S**econd)の略。1 秒間に実行処理できるオペレーション数の単位。
- 3) 通信できる機器は、補聴器メーカーにより異なりますが、一般的には iPhone と Android のいずれかのみとなります。

## 日本国内補聴器出荷台数 新型コロナの影響が鮮明に

日本補聴器工業会から 2020 年 4 月期の出荷台数が発表されましたが、前年比では 1 月 109.2% 2 月 103.6% 3 月 84.7% 4 月 67.8% と月を追うごとに悪化しており、近年最大の下げ幅となりました。これにより 1~4 月累計で前年比は 90.2%まで下落となり、新型コロナウイルス流行の影響が鮮明に出た結果となっております。

## 店舗情報 - 2020年4月21日に枚方店が移転 リニューアルオープン -

トーシン・補聴器センター枚方は皆様に快適な空間でご利用いただけるよう、店舗拡張のためラポール枚方の向い側へ移転し、リニューアルオープンいたしました。スタッフ一同、お客さまのご要望にお応えできる体制を整えると共に、さらに愛される店舗づくりに邁進していく所存です。

住 所 : 〒573-1191 枚方市新町 1 丁目 7 番 35 号 ラ・ソワ枚方新町 1 階 101 号

T E L : 0 7 2 - 8 0 4 - 3 3 1 1 (変更ありません)

F A X : 0 7 2 - 8 0 4 - 3 3 2 2 (変更ありません)

営業時間 : 午前 10 時～午後 6 時 (日曜・祝日は休業)



TOSHIN Hearing NEWS 発行元

 **東神実業株式会社**  
**トーシン・補聴器センター**

本 社 : 〒550-0002 大阪市西区西本町 2-4-7

T E L : 06(6531)2541 F A X : 06(6531)3398

U R L : <http://www.toshin-ha.co.jp/>